

【公認会計士】工場長が解説！
従来会計の欠点！

「モノづくりを強くする」管理会計入門

～従来の原価計算・損益計算書の【欠陥】【限界】を知り「正しく問題把握・意思決定」が出来る会計手法を理解する～

日時 2024年8月23日(金) 10:00～17:00
(9:30 受付開始)

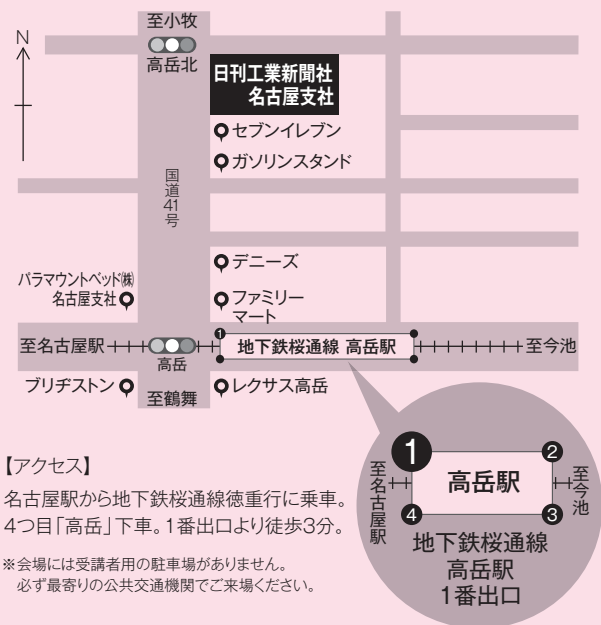
※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 46,200円(資料含む、消費税込)

※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ

日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG
TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159受講
申込書

8/23 モノづくり会計

お申し込みは <https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
	部署・役職	FAX	
所在地	〒	E-mail	※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/>
備考			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech

郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

No.247557

開催主旨

世界的なインフレや円安が止まりません。とはいえ、企業は生き残りをかけて利益ねん出していかねばなりません。当然、製品の採算を厳しく見ていかねばならず、**今まで以上に精密な原価計算**が求められます。・赤字を回避するには、どの程度の値上げが必要なのか？ ・どの製品を打ち切り、どの製品を伸ばしていくべきなのかそのラインは？ ・どんな方向に向かって、事業を再構築していけば良いのか？ こうした経営判断の拠り所となるのが【原価計算】です。

しかしながら…。実は、そもそもの【原価計算】の手法（全部原価計算・直接原価計算）が、**現実のモノづくりの事業活動とは乖離してしまっており・損益分岐点が実態とかけ離れている・コストダウンしようにもコストの内訳がおかしくなっている・適正在庫がくるってしまっている。**

しかも、こうした状況に誰も気づいておらず、**精密な計算をすればするほどおかしくなっていく…というのが多くの企業の会計の実態なのです。**

まさか!と思われるかもしれませんが、本当です。最大の理由は、会計士・税理士などの会計の専門家が、**製造業をよく知らずに古い会計の仕組みを無理やり当てはめているから**…。会計士・税理士などの会計の専門家がいう事ですから、誰も間違いを指摘できないし、そもそも間違っているなどと誰も思ってもいないでしょう。

例えば…・事業の付加価値を数値で見える化する仕組みがありますか？ ・現場にやらせているカイゼンの効果は何円になるのかを金額で把握していますか？ ・コスト目標と実績の差が毎日確認できる仕組みがありますか？ ・期末1日の在庫削減ではなく平均在庫を管理していますか？ 在庫の金利は具体的に何円ですか？ ・工場内の在庫削減だけでなく、売上債権の管理にも同じくらい目を配っていますか？

・自社のWACC（ワック）を知っていますか？ それが関係者に周知されていますか？ ・ホワイトカラーの生産性をどのように測定し評価していますか？

上記の質問は、強いモノづくり現場を作るために重要な視点（質問）ですが、こうした問いに、税理士や会計士が答えられるでしょうか？ まず無理だと思います。つまり、モノづくりを知らない専門家たちの「会計」が多くのモノづくり企業の経営課題の把握を阻害し、意思決定を歪め、競争力を弱体化させているわけです。

こうしたことから、本講座では、「製造業に精通した公認会計士」である講師が、従来型の会計でコスト構造を製造業に、あるべき会計の原則をレクチャーし、貴社の真のコスト構造の把握の仕方、その対処の仕方を解説します。いち早く会計上の問題に気づき、手を打つ企業はそれだけ、競争と格差をつけられます。自社のコスト構造の真の実態を把握したい方、これからどう戦っていくべきかを知りたい方、ぜひご参加ください。**従来型の会計がいかにか自社経営課題を正確にとらえていなかったか驚かれるはず**です。

講師

公認会計士、元外資工場長、生産技術者、国内製造業 経営企画 **吉川 武文 氏**

【略歴】 モノづくりと会計と人を愛し、製造業の新たな成長の可能性を確信する。日本中の現場で「技術者だったのになぜ会計士？」と問われる度に、「コストの知識無くしてコストダウンはできません。製品開発も設備投資も生産革新も成功しないのです」と繰り返し説明しなければならぬ日本のモノづくりの現状を変えたいと願う。大切にしている言葉は「勇気と感謝」、信条は「ヒトはコストではなく資源」

プログラム

第I講 ◆物価暴騰の時代を生き抜く！

…今、日本のモノづくりが直面している課題

- I-1 パラダイムシフトの遅れ、低迷する生産性
- I-2 原因は…損益計算書の欠陥にあった！

第II講 ◆「利益」と「付加価値」

…全ての経営の出発点となる最重要指標 (KPI)

◆「損益分岐点」と「安全余裕率」

…明日の行動を決める指標

- II-1 「付加価値」が見えなければ危機も見えない！
従業員も本気にならない！
- II-2 まるで目を閉じて車を運転するが如し
…そのP/Lで「正しい経営判断」ができますか？

演習① P/Lを組み替え、指標を「正しく」とらえる。
正しい指標を元に事業計画を立てる

第III講 ◆原価差異…コストダウンの成否を握る重要な指標

- III-1 コストダウン担当者がコストの内訳を知らないという悲劇が広がっている
- III-2 差異が無いのは目標がないから？
本当に本気なら、必ず差異が出る！

演習② コストダウン活動を設計する

第IV講 ◆生産性…ホワイトカラーを本気にするためのKPI

- IV-1 「生産性を15%上げなさい」
「了解です！ でも、どうやって測る？」
- IV-2 生産性が測れなければテレワークに対応できない。
人材も育たない

演習③ 生産性の測定と業績評価

第V講 ◆在庫回転数と固定資産回転数

…新しい事業戦略の要になる指標

- V-1 日本中で「在庫は足りない！ お金は寝ている！」なぜ？
 - V-2 従来の減価償却が招く致命的な経営判断ミス
- 演習④ 5つの在庫回転数と不正直指数の計算、減価償却とROAの関係の確認

第VI講 ◆IRRと資本コスト

…正しい設備投資の意思決定をするための指標

◆流動比率、自己資本比率

…株低迷や年金破綻の原因になっている指標

- VI-1 勘と気合の設備投資をやっていませんか？
 - VI-2 WACC (加重平均コスト) とIRR (内部収益率) を知っていますか？ 知らなければ、株式会社失格です！
- 演習⑤ IRR (内部収益率) の計算は決して難しくない

第VII講 ◆キャッシュフローとバリューフロー

…正しい意思決定を支える新しい会計

- VII-1 全部原価計算では意思決定できない！
直接原価計算でもダメ！
 - VII-2 スピード経営の薦め、3位一体の管理 (計画～実行管理～開示) の薦め
- 演習⑥ これまでの原価計算では見えなかった、バリューフローで見つける新しい勝負所